

JR 大野城駅西口の公有地の有効活用に関するアンケート

結果概要

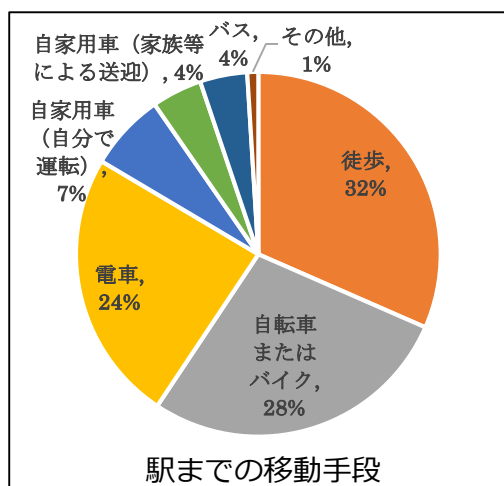
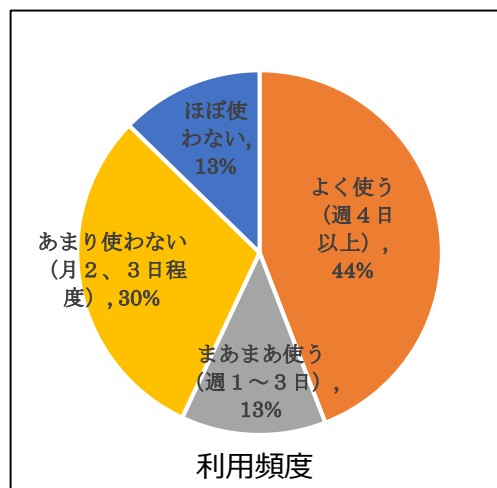
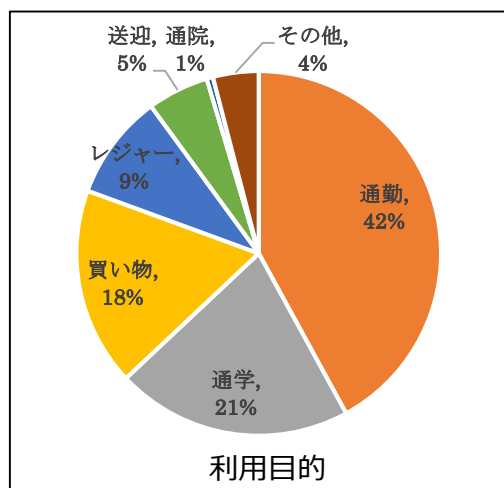
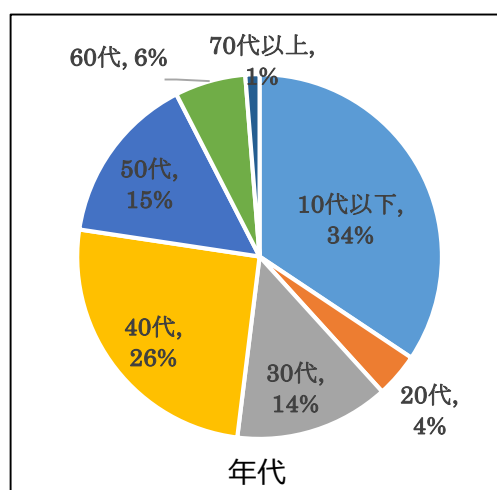
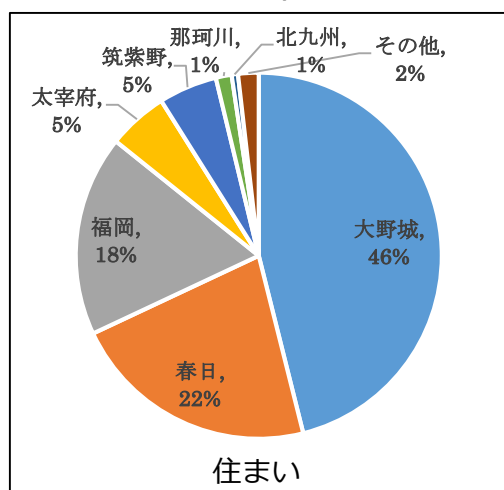
大野城市

令和6年1月

調査対象	JR 大野城駅の利用者
回答期間	令和5年9月8日（金）～令和5年9月30日（土）
有効回答数	716件（うち、当駅の利用頻度の高い者の回答数408件※）
調査結果の留意事項	回答割合等の算出にあたっては、小数点第2位で四捨五入しているため、その合計値が100%にならないことがある。

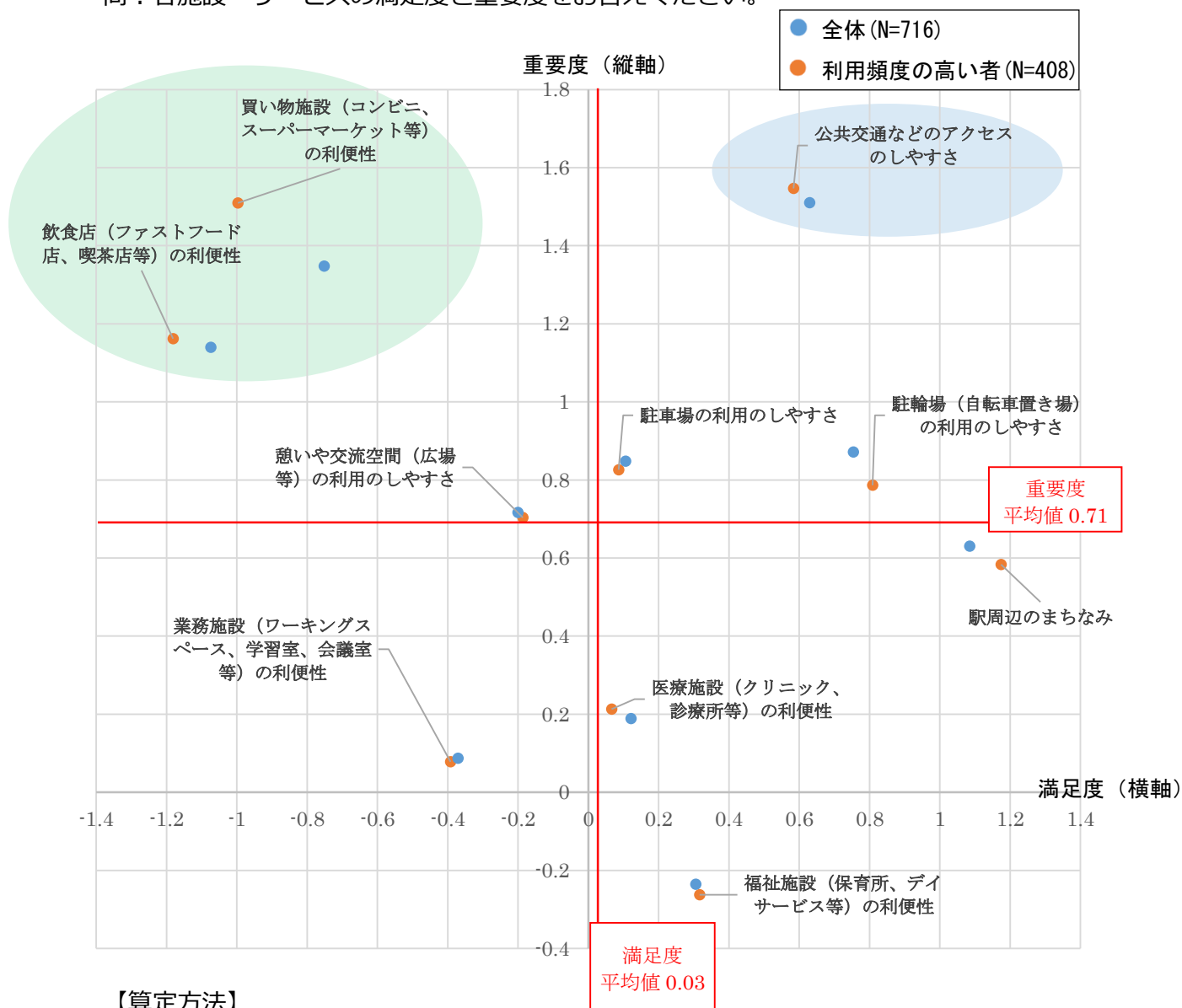
※ 実際に当駅を利用する者の声を抽出するため、駅を週1日以上利用する者を「利用頻度の高い者」と定義し、必要な分析を行った。

■ 回答者属性（N=716）



■ CS ポートフォリオ分析（満足度×重要度）

問：各施設・サービスの満足度と重要度をお答えください。



【算定方法】

●満足度

「満足」の回答数×2点、「やや満足」の回答数×1点、「やや不満」の回答数×-1点、「不満」の回答数×-2点として、その合計値を回答数で除する。

●重要度

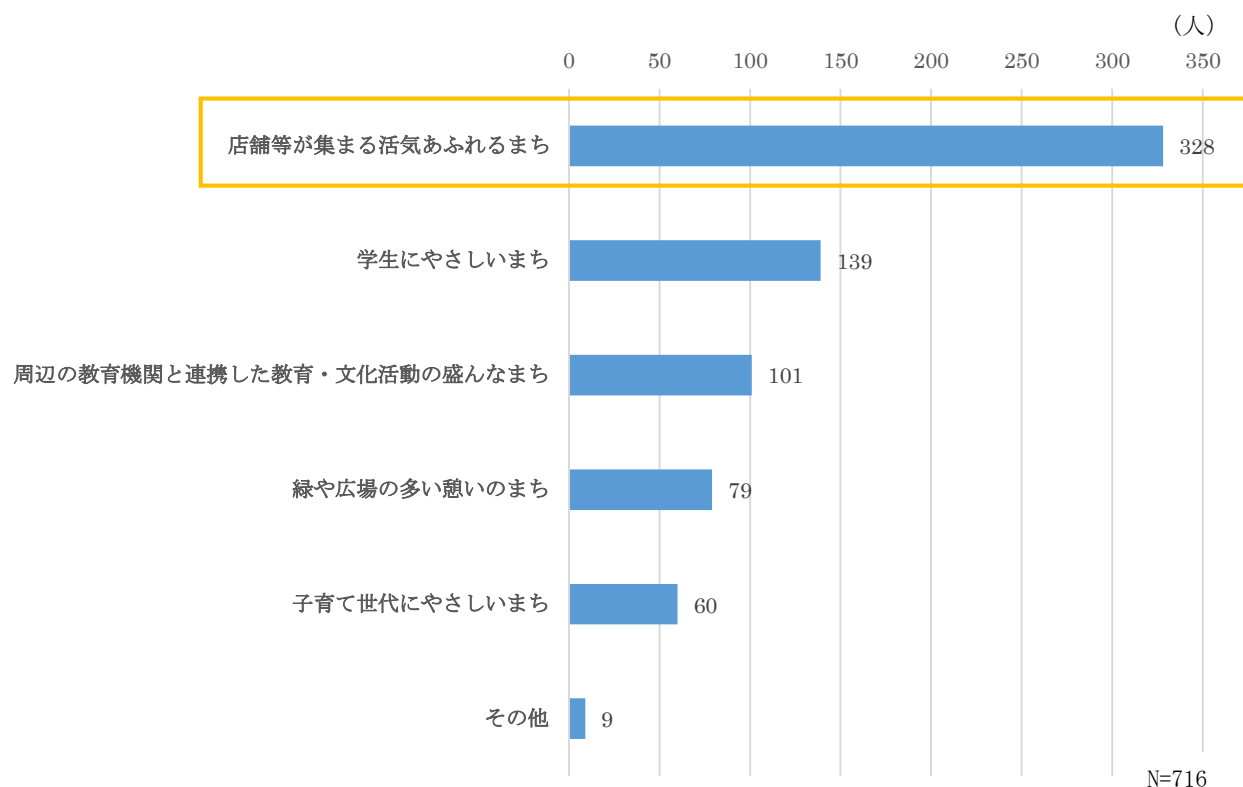
「重要」の回答数×2点、「やや重要」の回答数×1点、「あまり重要でない」の回答数×-1点、「重要でない」の回答数×-2点として、その合計値を回答数で除する。

【特記事項】

- ・ 本地区において、「買い物施設」や「飲食店」は、重要度が高く、満足度が低いことから、重点的に改善すべき本地区の弱みであるといえる。
- ・ 本地区において、「公共交通などのアクセス性」は、重要度、満足度ともに高いことから、重点的に維持すべき本地区の強みであるといえる。
- ・ 回答者全体と利用頻度の高い者とで、回答の傾向に大差はない。

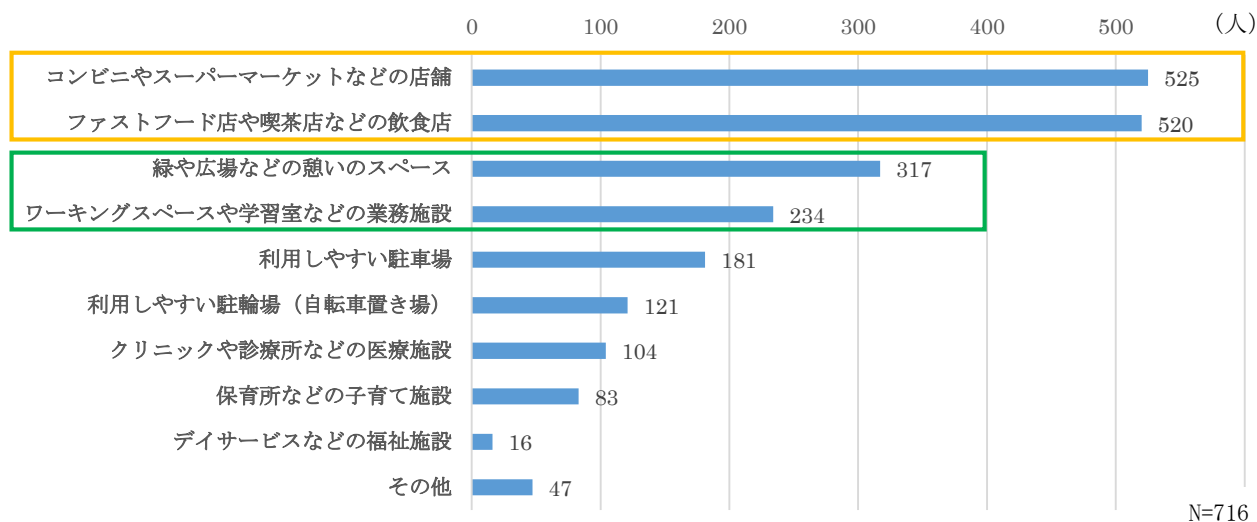
■ 駅前の将来像（N=716）

問：大野城駅西口駅前が将来どのようなまちになればよいと考えますか。



■ 駅前に最も必要な施設等（N=716）

問：大野城駅西口駅前に最も必要だと思う施設をお答えください。



【特記事項】

- ・ 本地区においては、店舗や飲食店の立地を求める声が多い。
- ・ 次点では、緑や広場などの憩いのスペース、ワーキングスペース等の業務施設の立地を求める声が多い。学生等が利用しやすく、滞留できる空間の整備が求められている。

■ クロス集計結果（駅前に最も必要な施設等）※利用頻度の高い者のみ集計（N=408）

【数値】 上段 = % 下段 = 件数			コンビニやスーパーなどの店舗	ファストフード店や喫茶店などの飲食店	緑や広場などの憩いのスペース	ワーキングスペースや学習室などの業務施設	利用しやすい駐車場	（自転車置き場） 利用しやすい駐輪場	クリニックや診療所などの医療施設	保育所などの子育て施設	デイサービスの福祉施設など	その他
基準値 (N=408)		100.0 408	40.7 166	29.2 119	6.9 28	7.1 29	6.6 27	2.5 10	- -	2.0 8	0.2 1	4.9 20
居住地別	大野城市	100.0 188	47.3 89	19.7 37	5.9 11	7.4 14	8.5 16	3.2 6	- 0	1.1 2	0.5 1	6.4 12
	春日市	100.0 80	40.0 32	23.8 19	6.3 5	6.3 5	12.5 10	3.8 3	- 0	5.0 4	- 0	2.5 2
	福岡市	100.0 80	32.5 26	48.8 39	6.3 5	6.3 5	- 0	- 0	- 0	1.3 1	- 0	5.0 4
	太宰府市	100.0 14	14.3 2	64.3 9	- 0	14.3 2	7.1 1	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
	筑紫野市	100.0 32	34.4 11	37.5 12	15.6 5	9.4 3	- 0	- 0	- 0	3.1 1	- 0	- 0
	その他	100.0 14	42.9 6	21.4 3	14.3 2	- 0	- 0	7.1 1	- 0	- 0	- 0	14.3 2
	10代以下	100.0 102	20.6 21	52.9 54	4.9 5	15.7 16	2.0 2	1.0 1	- 0	1.0 1	- 0	2.0 2
	20代	100.0 22	31.8 7	13.6 3	9.1 2	18.2 4	4.5 1	- 0	- 0	9.1 2	- 0	13.6 3
年代別	30代	100.0 70	51.4 36	28.6 20	5.7 4	1.4 1	4.3 3	- 0	- 0	4.3 3	- 0	4.3 3
	40代	100.0 116	49.1 57	22.4 26	5.2 6	4.3 5	7.8 9	3.4 4	- 0	1.7 2	0.9 1	5.2 6
	50代	100.0 71	47.9 34	14.1 10	7.0 5	2.8 2	14.1 10	7.0 5	- 0	- 0	- 0	7.0 5
	60代	100.0 23	39.1 9	21.7 5	21.7 5	4.3 1	8.7 2	- 0	- 0	- 0	- 0	4.3 1
	70代以上	100.0 4	50.0 2	25.0 1	25.0 1	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0

■：基準値より5ポイント以上低い ■：基準値より10ポイント以上低い
■：基準値より5ポイント以上高い ■：基準値より10ポイント以上高い

【特記事項】

- ・ 居住地別では、大野城市民や春日市民（地域住民）は店舗、福岡市民や太宰府市民等（来訪者）は飲食店の立地を求める傾向にある。
- ・ 年代別では、10代以下は飲食店、20代は業務施設、30～50代は店舗の立地を他世代に比べて求める傾向にある。また、60代以上では、緑や広場などの憩いのスペースの需要が他世代に比べて高い。